

# 令和元年度（平成 31 年度） 第 1 回学校協議会 議事録

令和元年 6 月 3 日（月）実施

## ▶ 協議会委員の出席者

今西恭夫委員 中井正昭委員、伊波豊委員、吉本ますみ委員、濱口恵子委員、平尾俊次委員

## ▶ 教職員の出席者

北橋校長 清家教頭

## ▶ 委員の委嘱

## ▶ 設置要綱の確認

## ▶ 会長の選出

満場一致で今西会長を選出

## ▶ 令和元年度（平成 31 年度）学校経営計画の進捗状況について校長より説明

### 【委員からの意見等】

- ・ 学力調査問題を見て自分で説明するには、考えを持たないといけないと感じた。言葉を増やすためには読書が必要ではないか。
- ・ 友達と遊んでも、ゲームばかり。条件反射はできるが、考えないので、賢くならない気がする。ゲームを制限する必要がある。国際的にも、依存症が認められているくらいなので、注意が必要。
- ・ 視覚の情報が多すぎて、想像したり、何とか情報を得ようとするための努力をしない。
- ・ 今の時代の親もピンと来ていないのではないかと。こつこつやらないといけないが、しんどいからしないといった傾向がある。
- ・ 学力向上の取り組みを見ると、学校の特色を出しながら、個々の課題に対して対応している。一緒にやっ払いこう。輪の中に入れていこう。そうしながら、学力を向上しようとしても良く考えてやっている。それでも、なかなか成果として表れないが、数年後に成果が出てくると思う。
- ・ 働き方改革が言われ、先生方も仕事の効率化と早期帰宅を考えながら、学校の方向性を考えないといけないことが多く大変と感じる。
- ・ 道徳の授業は、参観すると昔のような授業ではなく、変わってきていると感じる。
- ・ 私たちが、教科書を見てもわからないところもあるが。現代の課題にマッチした道徳をしてほしい。
- ・ 思いやり、マナーを教えこむより、考え方を伝えることが大切。人のためにできる事をやろう。自分だけ良ければいいとの考え方を改めようなどの働きかけがいていいのでは。
- ・ 保護者に味生小学校の学力の現状が伝わっているだろうか。塾など行かすことができない現状もあると思うが、参観等で子どもたちを見ると頑張っているのだから、家庭でも学習できる環境を整えられるようになれば良いと思う。
- ・ 自分から進んで家庭学習をすることが必要だと思うが、何をしてもやらない児童が 2 割強いる状況を、学校でもしゅくだい広場などで習慣づけていく必要がある。
- ・ 宿題は、中学校ではほとんど出ない。わが子は、小学校でのきっちりした取組のおかげで何とかあった。

- ・校内音楽会はとても感動した。きれいな歌声で感動したが、5年生もよく頑張っていたと思う。
- ・今年度も、学校協議会としても、PTA 主催地区懇談会に参加協力し、つなぐ役割となりたい。
- ・家庭学習をテーマの中心におき、時間をしっかりとり、話し合いたい。なるべく大勢で話ができればよい。
- ・保護者のちょっとした配慮のなさが、子どもの一日の勉強の意欲がなくなることにつながることもある。地区懇談会でいろいろな意見を出し合い。保護者の意識改革になっていけばと思う。子どもの将来にとっていいようになってほしい。